

事業番号	05	06	24	事業改善シート（28年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	精神科救急医療整備事業						担当課	部局	健康福祉部	
								課・局・室	保健・疾病対策課	
総合5か年計画	プロジェクト	4－3－3 健康づくり・医療充実プロジェクト						E-mail	hoken-shippei@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	6－1 健康で長生きできる地域づくり								
		5 疾病対策の推進					実施期間	H9	～	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針									
	施策展開									

1 事業の概要

目指す姿	・常に精神障害者の病状の急変に対応し、県民が安心して暮らせる医療体制を確保する。 ・精神科救急医療の4圏域化体制を維持する。											
現状 (予算編成時)	・常に精神障害者の病状の急変に対応し、県民が安心して暮らせる医療体制を確保する。 ・東北中南信4圏域ごとに精神科救急医療体制を整備する。											
県が関与 する理由	県関与の必要性あり				【左記の説明、根拠法令等】 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律							
	県民との協働による実施：実施は困難											
成果目標・ 事業内容	① 成果目標(H28)											
	○4圏域ごとに輪番病院を指定し、365日、休日・夜間における精神科救急医療体制を整備する。 ○精神科救急情報センターの相談機能を拡大し、医療相談に加え福祉制度等の助言や支援機関への取り次ぎを実施											
	② 事業内容 (単位:千円)											
	項目		実施方法	H28事業実績			H28		H29			
							(当初)		(決算)			
									(当初)			
	1 精神科救急医療確保事業		委託	・4圏域(東北中南信)ごとに輪番病院を指定。(委託先:長野赤十字病院、鶴賀病院、千曲荘病院、メンタルサポートそよかぜ病院、栗田病院、佐藤病院、篠ノ井橋病院、上松病院、北アルプス医療センターあづみ病院、小諸高原病院、松南病院、城西病院、松岡病院、倉田病院、村井病院、諏訪湖畔病院、飯田病院) ・県立こころの医療センター駒ヶ根を常時対応施設として指定。			91,439		77,598			
	2 精神障がい者在宅アセスメントセンター事業		委託	・休日及び平日夜間に精神科救急医療相談窓口を設置。			14,574		14,574			
3 長期連休時等の精神保健指定医待機事業		直営	・年末年始等、医療機関の休診日が連続する期間において、措置入院診察を確実に実施できるよう精神保健指定医を配置する。			368		230				
			合計			106,381		92,402				
						106,458						
事業 コスト	区分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越				項目		H26末	H27末	H28		H29
		当初予算	112,367	106,381	106,458					目標		目標
		補正予算								成果		達成状況
		合計(A)	112,367	106,381	106,458					達成		4圏域維持
	Aの財源	一般財源	56,184	45,720	45,674	精神科救急医療圏域数		3圏域	4圏域	4圏域維持		4圏域維持
		県債										
		国庫支出金	56,183	45,719	45,674							
		その他	0	14,942	15,110							
	決算額(B)		94,494	92,402								
	概算人件費	職員数(人)	0.3	0.3	0.3							
		概算人件費(C)	2,483	2,374	2,374							
	概算事業費(B(A)+C)		96,977	94,776	108,832							
目標に対する成果 の状況		平成26年度までは東北信で一圏域として実施していたが、平成27年度に東信、北信と2圏域化したことにより、精神科救急医療体制を整備する圏域を3圏域から4圏域に拡大した。平成28年度においては、4圏域を維持した。										

目標に対する成果の状況	平成26年度までは東北信で一圏域として実施していたが、平成27年度に東信、北信と2圏域化したことにより、精神科救急医療体制を整備する圏域を3圏域から4圏域に拡大した。平成28年度においては、4圏域を維持した。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	平成28年度においては、精神保健指定医の確保が特に困難である長期連休は年末年始のみであったため、年末年始のみ精神保健指定医待機事業を実施したが、平成29年度においては、5月の長期連休時においても、措置入院診察を確実に実施できるよう精神保健指定医を配置する。